

令和5年度 第1回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和5年5月17日（水）午後6時より

《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」

《出席者》 委 員：地域代表、家族会代表、地域包括支援センター職員、有識者…計4名
市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…計3名
運 営 側：理事長、光風荘施設長、介護職員…計4名

《議 題》

1. 報告事項

- (1) 入居者、職員の異動について
- (2) 前回会議以降の活動状況について

2. 行政等からの情報提供

3. その他

■挨拶

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回の運営推進会議は、3年ぶりの開催となります。久しぶりにお集まりいただきましたが、皆様の忌憚のない意見をいただいてよりよい運営に役立てていきたいのでよろしくをお願いします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

○入居者

- ・ 3月19日 2階に78歳女性が入居
- ・ 4月15日 2階に91歳女性が入居

昨年度は退居者数は多くはなかったものの、申込件数が非常に少なく、見学等に見えた方も新型コロナ対策に伴う制限（面会制限・外出制限など）を聞いて、申込を控えるという方が多かった為、空室が多い1年であった。

また、光風荘では入居希望の方に、半日体験としてご本人様に光風荘へ来て頂く、というステップを用意しているが、医療機関入院中の方や施設入居中の方の場合、外出の許可が下りず、半日体験で実施できない、というケースも複数あった。半日体験を省いて入居判定を進めるかどうか判断に悩んだものの、実際に光風荘で過ごしていただいた際の様子を見て判定をする、という部分はキープすべきという決断に至り、お断りする事があった。

入居後数か月で入院・退居となった方が2名いらっしゃった事も影響した。先程お伝えしたお二人が入居され、ようやく満室となった。

○職員

- ・異動はなし。

3月～4月に、週2日勤務であった職員が2名、週3日勤務に増やすことを承諾し、少しずつ人員が充足されてきている。

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
3月28日	1階お花見	入居者9名 職員4名	元々は関前公園等で実施していたものの、新型コロナウイルス流行を受け、今年も断念。花見弁当を用意し屋上で行う予定であったが、天候に恵まれず。3階えんがわでお弁当を食べた。
4月3日	2階お花見	入居者8名 職員6名	天候に恵まれ、花見弁当を用意して屋上で実施した。
4月25日	館内清掃		3階・2階・1階と順番に、業者に清掃・ワックスがけをしていただく。
5月14日	母の日	入居者全員	各フロアで、母の日のお祝いをした。1階はちらし寿司とあんみつを用意し、記念撮影やゲームを行った。2階では餃子などの中華料理やフルーツポンチを用意した。
5月15日	新型コロナワクチン施設内接種	入居者14名 職員2名	協力医療機関による訪問診療日に併せて実施。接種券の用意が間に合わず、実施できなかった方も若干名いらっしやった。

○その他

- ・本来は週1回、協力医療機関より看護師に訪問していただき、状態の報告・処置・助言をいただいていたが、新型コロナウイルス流行に伴い、施設－医療機関の間で感染拡大が起こらない様、ファックスや電話での報告を実施していた。5月より、直接訪問していただく形で実施していただく事となった。

【質疑応答・意見交換】

「運営」：入居されている方の健康状態について説明する。

「運営」：コロナ禍に入って2021年・2022年と入居者の入れ替わりが続いた。2021年に1階の入居者の退居が続いた。2022年は2階の退居が続いた。そのため、比較的自立度の高い方が入居されている。ただし、コロナ禍で外出の機会が減り、下肢筋力の低下が目立っている。

「運営」：サービス内容で変化したことについて説明する。

「運営」：以前から大切にしてきた散歩は再開している。また、必要な方には訪問マッサージを推奨したり、室内での体操や調理・掃除などの家事活動を強化したりしていきたい。ただし、散歩に

は敵わないと感じている。

「委員」：半日体験はコロナの前から実施していたのか。

「運営」：そうである。

「委員」：新型コロナウイルスが流行で、半日体験ができないから入居に至らなかったことをどう思うか。そもそも体験入居は、施設側が受け入れ可能かを把握する場であり、入居希望者側が光風荘の生活を知る場でもあると思われるが、伺った内容から、施設が受け入れできるかという点に重きを置いているように感じた。コロナという要因はあるが、受け入れのチャンスを逃したのが残念だと思われる。体験入居が難しい時の代案が必要ではないか。

「運営」：入居希望者の方に知っていただく事にも重きを置いている。コロナの前から施設長がご本人の自宅に出向き、ご本人やご家族に面会して情報収集をしている。ただし、光風荘で体験入居して得られる情報は多いと感じている。

「運営」：光風荘への入居は、簡単に進まない点が難しいと思う。

「市等」：入居者の要介護度はどうか。

「運営」：平均 2.4 である。現在は、要介護 5 の方がいない。入居当初に要介護 2 の方が要介護 1 に改善した事等もあった。

「市等」：本来のグループホームの目的である家事や散歩ができているといえるか。

「運営」：できている。

「運営」：法人には、特別養護老人ホームがある。光風荘で重度化していても、特別養護老人ホームで引き続き支援できる。この流れがうまく行ってほしいと思う。

「市等」：面会の状況はどうなっているか。

「運営」：4 月上旬に面会の制限の一部解除を行った。入居者一人当たり、面会は月 2 回までで時間は 10 分間などの条件で受け入れている。ただし、受診や薬や衣服などを持参された場合は、臨機応変に対応している。

「委員」：家族との外出はまだ先になるのか。

「運営」：光風荘だけで判断できるかは迷うところがある。新型コロナウイルスが第 5 類になり、季節性インフルエンザ相当の扱いになったとしても、結局は隔離療養等が必要となってくる。ただし、日常的な外出は難しくても個々人の事情で家族との外出を認めることがあった。

「委員」：家族として臨機応変に対応してもらい助かっている。親類が入居する施設では、亡くなる直前でもオンラインでしか面会を認めてくれなかった。光風荘では、プレゼントを持って行っても直接手渡しすることができる。

「運営」：施設の運営を考えると安全を優先してしまう。何かあった時の責任論が出てくる。それぞれの家庭の状況に合わせて運営すべきだと考えている。

「委員」：このような運営姿勢がもっと広がってほしい。

「市等」：待機者 3 名となっているが、もし空きが出た場合、すぐに入居してもらえるのか。その間に他の施設に入居してしまう可能性のある数字なのか。

「運営」：今年の 2 月になって急に申し込みが増えたことがあった。しかし、実際に入居できることを連絡すると辞退するケースがあった。また、今回は見合わせるが、申込だけは残してほしいというケースもあった。すぐに入居に繋がらないケースもある。

「市等」：申し込みをする方は、光風荘だけなのか。または、他のグループホームも申し込んでいることが多いのか。

「運営」：他のグループホームも見学していることが多い。

「市等」：グループホームだけでなく、特別養護老人ホームや有料老人ホームも申し込んでいる事は多いのか。

「運営」：グループホームに空室が出るまで待てず、一旦有料老人ホーム等に入居するケースはある。

「市等」：退居される方の理由として特別養護老人ホームへの入居が挙げられていたが、その他の理由は何か。

「運営」：大きく二つの理由がある。一つは特別養護老人ホームへの入居で、もう一つが医療機関への入院となる。在宅に戻る方は、ほとんどいない。

「市等」：光風荘で看取りの事例はないのか。

「運営」：光風荘では、段取りを組んで看取りをしたケースと医療機関に入院する手続き中に間に合わず結果的に看取りとなったケースがある。ご家族には入居前に、看取りの段階で光風荘の設備や食事の提供などでできる範囲を説明している。実際には、看取りに至る前の段階で、設備の問題や提供できる食事形態の限界から、退居になることが多い。

2. 行政等からの情報提供

- ・武蔵野市では、令和2年度から武蔵野市で看護職や介護職で新たに就職する方や再就職する方に支援金を支給する「武蔵野市介護職・看護職R e スタート支援金支給事業」を開始した。支給には条件があるが、武蔵野市で看護や介護職で勤務する方を支援する趣旨のもと実施している。対象となる方への案内及び周知に引き続きご協力をいただきたい。
- ・令和5年12月に市内で3か所目の認知症高齢者グループホーム（定員18名）が開設される。

3. その他

- ・今年度は第三者評価を受審する予定。7月よりご家族へのアンケートや職員の自己評価を実施していく予定。
- ・次回の運営推進会議は、7月19日（水）18時の予定。